

ランチョンセミナーLS-12

2014 **5.22** 木 12:50 ▶ 13:50

第6会場

福岡国際会議場
2F 204

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

ドパミントランスポーター イメージングの 臨床応用について

座長

服部 信孝 先生

順天堂大学医学部 脳神経内科 教授

講演1

レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症の鑑別診断における
ドパミントランスポーターSPECTの有用性

井関 栄三 先生

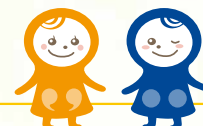
順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
PET/CT認知症研究センター 教授

講演2

パーキンソン病診療における
ドパミントランスポーターイメージングの有用性

村田 美穂 先生

国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科



本学術大会共催セミナーは事前予約制です。
学術大会ホームページよりお申込みください。
(ホームページでの事前予約は4月21日(月)までです。)
なお、当日予約は学会場にて承ります。

<http://www.congre.co.jp/neuro55/>

共催 | 第55回日本神経学会学術大会
日本メジフィジックス株式会社

後援 | 日本脳神経核医学研究会

ドパミントランスポーター イメージングの臨床応用について

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

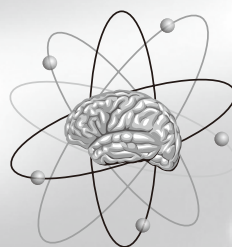
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN